

科目名	翻訳論特殊研究	担当者	アキクサ 秋草 シュンイチロウ 俊 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	「新しい比較文学」を標榜する新しい英語の学術書を通年かけて一冊精読していく。概念モデルとしての「翻訳」が、さまざまな事象を考えるうえでどこまで有効なのか、エミリー・アプターの著作を手がかりに考えてみる。後期にかんしては受講者の関心、進捗状況に応じて柔軟に教材を選定することも考えたい。		
到達目標	英語の学術書を精読し、内容について批判的に議論できるようになること。 英語を含む参考文献・引用・注の体裁をととのえた学術論文の執筆形式に習熟すること。		
学修方法	教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。レポート提出システム manaba を用いたうえで、面接ゼミ・サイバー・ゼミのいずれかに参加し、課題レポートについての報告をおこなうことが望ましい。		
スケジュール	前期： 7月中旬までに教材1のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については9月中旬までに最終稿を提出。 後期： 11月中旬までに教材2のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については2018年1月中旬までに最終稿を提出。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、学術論文の体裁が整っているか評価する。
	平常評価	20%	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	やや大変と思われるかもしれないが、英語で学術文献を精読できることは博士論文執筆の最低条件であるので、一年をかけて一冊の学術書を読むことで英語読解力を養成してほしい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： Emily Apter 教材名： <i>The Translation Zone</i> . (Princeton University Press, 2006) \$21.00. ISBN:978-0-69-104997-7
	各章が独立しているが、「翻訳」をキーワードに戦争や芸術、遺伝子などさまざまな事象にアプローチしていく。翻訳研究のモノグラフだが、ジェレミー・マンディ『翻訳学入門』のようなスタンダードな入門書とはかなり異なる。
参考図書	パスカル・カザノヴァ 『世界文学空間』藤原書店
履修上のポイント	当然ながら、引用されている文献にできるだけ目を通してから課題に挑戦すること。
レポート課題 1	<i>The Translation Zone</i> の Introduction, Part One, Part Two のうち (全 8 章) 2 章を選んで内容を要約し、批判的に自分の意見を述べなさい (3,000 字以上)。 留意点 ：つまりアカデミックな書評を書くというもので、当然ながら先行の書評が参考になるはずである。
レポート課題 2	<i>The Translation Zone</i> での議論を参考にして、自分で文学作品・芸術作品 (映像作品などふくむ) を一つ以上とりあげて翻訳という観点から論じなさい (3,000 字以上)。 留意点 ：扱う作品は日本語含め、どんな作品でもかまわない。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： Emily Apter 教材名： <i>The Translation Zone</i> . (Princeton University Press, 2006) \$21.00. ISBN:978-0-69-104997-7
	各章が独立しているが、「翻訳」をキーワードに戦争や芸術、遺伝子などさまざまな事象にアプローチしていく。翻訳研究のモノグラフだが、ジェレミー・マンディ『翻訳学入門』のようなスタンダードな入門書とはかなり異なる。
参考図書	Emily Apter, <i>Against World Literature</i> , 2013.
履修上のポイント	当然ながら、引用されている文献にできるだけ目を通してから課題に挑戦すること。
レポート課題 1	<i>The Translation Zone</i> の Part Three, Part Four, Conclusion (全 9 章) のうち、2 章を選んで内容を要約し、批判的に自分の意見を述べなさい (3,000 字以上)。 留意点 ：つまりアカデミックな書評を書くというもので、当然ながら先行の書評が参考になるはずである。
レポート課題 2	<i>The Translation Zone</i> での議論を参考にして、自分で文学作品・芸術作品 (映像作品などふくむ) を一つ以上とりあげて翻訳という観点から論じなさい (3,000 字以上)。 留意点 ：扱う作品は日本語含め、どんな作品でもかまわないが、前期とは異なるものを選ぶこと。